

「第2回 ニッポン移住者アワード」グランプリ決定！

～移住で理想の暮らしを実現した人たちを表彰するコンテスト～

フジサンケイグループの産経新聞社、ニッポン放送、ポニーキャニオン、BSフジの4社が主催する、移住先で理想的な暮らしを実現した人たちを表彰するコンテスト「第2回 ニッポン移住者アワード」の選考会および表彰式が12月9日(火)、東京都港区のポニーキャニオン本社で開催され、グランプリと各部門の受賞者が決定しました。【公式ホームページ】 <https://ijusha-award.jp/>



グランプリに輝いた静岡県焼津市の鈴木上貴さん(左端)と水野優子さん(左から2番目)

《グランプリ》

静岡県焼津市 水野優子 / 同市経済部誘致戦略課 鈴木上貴

SNSの力をフルに活用し、楽しみながら地元の悩み解決に邁進している姿が評価されました。

《地域創生賞》

静岡県沼津市 鈴木智博 / 同市政策企画課移住定住推進室 浅野元紀

分散型ホテルが地元のネットワークを生み、限界集落という地域の課題を解決するフロンティアに立っていることが評価されました。

《子ども未来賞》

佐賀県唐津市 三笠旬太 / 同市地域づくり部移住定住促進課移住定住促進係 下田愛

NPOの運営や古道具店を営みながら子どもたちと一緒に森を守り育ていく姿が評価されました。

《ウェルビーイング賞》

京都府舞鶴市 岡山茉莉 / 同市産業振興部ふるさと応援課 藤村聡

移住の苦悩や楽しさをコミックエッセイで発信し、充実した人生を送っている姿がウェルビーイングを体現していると評価されました。

《地域産業賞》

岐阜県山県市 加藤慶 / 同市企画財政課 佐伯卓馬

地元特産の伊自良大実連柿の伝統を守り、商品化を行い、保全に向けた行動によって地持続可能な地域産業を創出したことが評価されました。



一次選考では、地域コミュニティへの寄与、地域産業の活性、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上、自治体からの積極的なサポート等を書類審査し、8自治体8組が選考会に進出しました。

選考会出場者(移住先名)

千葉県白子町 埼玉県越谷市 静岡県沼津市 静岡県焼津市
岐阜県山県市 京都府舞鶴市 佐賀県唐津市 長崎県松浦市



ニッポン移住者アワード

「ニッポン移住者アワード」は、地域創生や地方移住に知見のある識者で構成する選考委員会が担当。自己実現・家族の幸せ・地域貢献・コミュニティ活性化・事業立ち上げ・伝統継承・次世代育成など、さまざまな視点で審査を行い、グランプリほか各部門賞を選考します。同時に各自治体の取り組みも審査し、移住者や地域の方々にとって魅力的な移住促進施策を行っている自治体を表彰。移住者とその暮らしを支援する自治体双方を審査対象とします。

選考委員長 林崎理 (一財)地域活性化センター理事長
(公社)ふるさと回帰・移住交流推進機構(JOIN-FURUSATO)業務執行理事
選考委員 及川卓也 マガジンハウス「こここ」統括プロデューサー/starnet代表
風間欣人 JTB総合研究所 代表取締役社長執行役員、立教大学観光学部 特任教授
中川淳一郎 編集者
山本ふみこ 随筆家